

99年度 春の学会 原子核三者若手総会議事録@広島大学

1998/3/30

1 予算案（北海道大学）

99年度 三者センター校から予算申請がなされて承認されました。

素粒子論グループからの援助

DC abstract 集印刷費、三者共通講義開催費の援助を素粒子論グループに申請したが、この目的ではなく、学生旅費補助として450,000円を援助してもらうことが決定された。一方、三者共通講義の講師旅費は、講師の方の所属する神岡宇宙素粒子研究施設に改めて申請することになった。

2 99年度新計画

議案書にある新企画の準備が既に行なわれていることが報告されました。
ただし、三者共通講義については、各パート同士の日程調整が必要です。

3 三者準備校（東工大）

以下のことが訂正された上で、議案書にあることが報告されました。

ポスターの印刷枚数は220～250枚を予定していたが、400枚までは同じ値段であるので、400枚印刷することにする。

夏の学校 Web page は <http://higgs.phys.kyushu-u.ac.jp/~yonupa/> に公開してある。

夏の学校開催について現時点で分かっていること。

- ・日程は毎年通り、7月20日～26日。
- ・宿泊費は一泊セットで5000円。
- ・体育館を講義会場として検討していたが、使用できなくなった。
- ・ポスターセッションを行なうのは今のところ原子核パートのみ。

4 三者事務局（新潟大）

担当校決め

下記の意見を踏まえた上で、新たに役職校に加わってくれる大学の獲得のための交渉と2年後の担当校の決定をすることが確認された。

- ・ローテーションに入れる大学の基準を作るべきである。
- ・役職校のためのタイムテーブルを Home page にのせる。
- ・ローテーションに入っていない大学は総会に参加していないケースがあるので、その様な大学に参加を呼びかける必要がある。
- ・研究室のメンバーが減った大学は他校と合同、又は、特定の役職から外すことも考える。

引き継ぎ体制

現在、役職校メーリングリストが立ち上がっているが、その運用について次のような意見があった。

- ・ 役職校の中でドクターに進学する人が確実にメーリングリストに加わっているべきである。
- ・ 実際に仕事をした人全員にメーリングリストにはいってもらうべきである。

責任の所在

夏の学校の各役職の仕事と責任者を明確にしていく。

5 素粒子論グループからの若手への要求

上記にあるように、素粒子論グループの会合において99年度三者若手夏の学校に対する援助として45万円が正式に認められました。しかしながら、この援助は、『夏の学校を良い行事にしてゆく努力、あらゆる手段を用いて予算を獲得する努力を、若手が維持するならば、援助する。』という厳しい条件つきで認められたものであり、それを怠った場合は、来年からは必ず打ち切られるものであります。従って、若手はそのための行動をすぐにでも起こさねばなりません。

そこで、今回の若手総会では予算の獲得について以下のことが話し合われました。

予算獲得のための Working Group を作る。

今年の夏の学校のためは、すぐに行動をおこさないと間に合わないので、Working Group を発足することを今総会で決定した。新潟大学とセンター校である北海道大学が中心になって活動する。

企業からの寄付

かつて、企業からの寄付を集める計画があったが、現在は止まっている。これは物理の研究機関関係から資金を集めることよりも大変であろうという意見もあったが、探せば援助を出す企業もあるかも知れないので、これから調べる必要がある。